



# れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2013年6月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

## 救急科について



救急科部長 野島 直巳

当院の救急センターは、平成13年に増築されて特殊処置室、小手術室、内科系処置室2つ、外科系処置室2つに4室の診察室、点滴等を行う観察室にて構成されています。突然の激しい頭痛、胸痛、意識障害などの症状や、突発的事故などで緊急に治療が必要な方を主に対象としています。

平日の午前8時30分から午後5時の診療は、昨年まで内科系、外科系医師が当番制で待機し、急な症状がある方の応急処置と初期診療を行っていましたが、本年度より、救急部専属担当となりその役を担っています。また、週に数回は金沢大学から応援医師を招いて共に対応しています。

担当診療科の専門医と相談の上に検査を施行し、入院や緊急手術を要する場合は、専門科にて処置、治療などを行っていくこととなります。

輪番当番の夜間や休日には、内科2名、外科系、小児科の各々1名が初期診療にあたり、放射線科、麻酔科も院内待機にて診療を行っています。専門的な処置や手術などは各科の拘束医が対応しています。

平成24年度は輪番日を中心に計9,485名の患者さんが受診されました。そのうち3,412名が救急車で来院されています。

～かかりつけ医の先生方へ 紹介に際して～

当院は地域医療支援病院として平成20年10月3日付けで、富山県で最初の承認を受けました。かかりつけ医の先生からの救急患者さんを救急部にて速やかに対応しています。しかし、時に緊急な処置が必要な患者さんへの対応が専門医師の事情（手術中など）で、すぐに対応できないこともあります。紹介に際しては前もって連絡をいただくようお願いいたします。

救急部での診療に関わって、放射線科、検査科の迅速な対応のおかげで早期の診断が可能になってきていると実感しています。患者さんの入院までにかかる待機時間の短縮が今後の課題と考えています。現在、脳梗塞に対するt-PA療法の適応症例、大腿骨頸部骨折症例への対応策など、救急部から専門科への迅速な流れを作るべくマニュアル作成を行っております。

今後、個人的にも各科対応の幅を広げるべく精進し、市民の皆様の健康と安全を担う救急医療の提供に努めたいと思います。

## Contents

救急科について.....	1
6月の地域連携・開放型病床症例検討会報告 ...	2
研修・講演・勉強会のご案内 .....	3
外来部門の紹介 .....	4
医師不在のお知らせ .....	4
編集後記.....	4

## 1. 地域連携・開放型病床症例検討会

1) 日時：7月9日(火) 19:00~20:15

ミニレクチャー：「糖尿病における眼合併症について」

眼科 山田 芳博

糖尿病3大合併症のうちの1つである糖尿病網膜症は、医療機器の進歩(眼底カメラや光干渉断層計)により診断の簡便性や確実性が増し、また治療においても抗VEGF薬の使用や硝子体手術における周辺機器の充実や技術の向上により、急速に進歩してきております。

しかし糖尿病における眼合併症は、糖尿病網膜症だけではな

く、外眼筋麻痺による複視や血管新生緑内障、角膜病変による眼痛や視力低下など、さまざまなものがあります。

今回、実際の症例を通して糖尿病眼合併症の病態、診断や治療につき解説し、内科や他科との連携のポイントについても講演させていただきます。

2) 症例検討(2例)

(1) 『不明熱・急速な黄疸憎悪を認めた症例』 (紹介医)吉田内科医院 吉田 幸弘先生 消化器内科 樋上 義伸

(2) 『当院における大腿骨頸部、転子部骨折治療の現状～骨粗鬆症の治療の連携を深めて』 整形外科 重本 顕史

### 予告

8月の開催は、都合により、ありません。

平成25年9月10日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：

緩和ケア内科 船木 康二郎

2) 症例検討 形成外科・外科の2例を予定しています。

## 2. 医療機器研修会

日時：7月2日(火) 17:45~18:15

場所：集団指導室

テーマ「モニターの基本と困ったときの対処法」

講師 臨床工学技士 松下 翔悟

## 3. 糖尿病研究会定例学習会

日時：7月4日(木) 17:45~18:45

場所：医局カンファレンスルーム

(今回は場所が変更になっております。)

テーマ「薬物療法 DPP4阻害薬使用方法、配合薬等」

講師 薬剤師 朱亀 進司

## 4. 透析看護認定看護師公開講座

日時：7月5日(金) 17:45~

場所：集団指導室

テーマ「透析患者のフットケアについて」

講師 透析看護認定看護師 松木 理浩

## 5. 緩和医療委員会 学習会

日時：7月9日(火) 17:45~

場所：集団指導室

テーマ「グリーンケアについて 緩和ケア病棟の家族会から」

講師 ターミナルケアエキスパートナース  
長谷川 志伸 中井 尚美

## 6. 乳腺術後症例検討会

日時：7月16日(火) 16:00~

場所：病理検査室

対象：医師、臨床検査技師、放射線技師、他

\* 日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前にご連絡ください。

## 7. 接遇力向上研修会

日時：7月16日(火) 13:15~16:00

場所：講堂

テーマ「トラブルを未然に防ぐ接遇力と院内コミュニケーション」

講師 置塩 良政(富山市民病院接遇向上委員会委員長、日本アンガーマネジメント協会公認ファシリテーター)

## 8. NST学習会

日時：7月22日(月) 18:00~19:00

場所：講堂

テーマ「経腸栄養剤・栄養補助食品の種類と選

択 経口訓練食(段階的)」

講師 管理栄養士

## 9. 褥瘡対策学習会

日時：7月26日(金) 17:45~18:45

場所：集団指導室

テーマ「チームとしての褥瘡対策と診療報酬」

講師 皮膚・排泄ケア認定看護師 関口 聡子

## 10. 看護研修

《看護研究研修会》

日時：7月6日(土) 9:00~12:00(8:45~受付)

場所：講堂

内容：講義 データを論文に活かすには(質的・量的)

ノートパソコンをご持参ください。

《救急蘇生研修》

日時：7月5日(金) 13:30~17:15

場所：講堂

内容：救急時の適切な看護処置について(講義・実技)

先着5名とさせていただきます。

《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：7月3日(水) 17:40~18:40

場所：講堂

テーマ 臨床実践に必要なフィジカルイグザミ

ネーション~主訴から推理するフィジ

カルアセスメント 基礎

日時：7月17日(水) 17:40~18:40

場所：講堂

テーマ 看護職のための臨床推理論入門~フィジカルア

セスメントのレベルアップを目指して 応用

《新特別企画》

日時：7月26日(金) 17:00~18:30

場所：講堂

テーマ 病院環境フォーラム13東京

病院機能評価2013年新たな枠組みと付

加機能評価

# 外 来 部 門

## の紹介



### 今月は 耳鼻咽喉科

現在耳鼻科は、諸般の事情により、医師1名と看護師2名、受付1名の4人のスタッフで少しさびしい状態ですが、みんな頑張ってやっております。  
 当科では扁桃疾患の手術をよく扱い、急性扁桃炎、摂取困難の入院も多いです。入院では顔面神経麻痺や突発性難聴、メニエールもありますが、後者は聴力検査が必要で、救急ではすぐにくまきません。救急では鼻出血（応急処置で鼻つまみ）、魚骨誤嚥（うがいをしてもある感じなら受診を）が多く、手術では副鼻腔内視鏡手術も行っていますし、今年は声帯ポリープの手術が多いようです。  
 外来は月～金、午前のみで、満員のことが多くご迷惑をかけることがありますがお容赦下さい。また木曜日の夕方16～17時に学生さんを予約で診ています。  
 （文責 加勢 満）

## 医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

7月分

科 名	不 在 日	医 師 名	科 名	不 在 日	医 師 名
内 科	11日	清 川	呼吸器・血管外科	22日、23日	草 島
	26日	石 浦		8日、9日	瀬 川
	23日	大 田		29日、30日	関
	5日、22日、25日、26日	寺崎 靖		16日	尾 島
	4日	打 越	整形外科・関節再建外科	2日、12日、16日、19日	澤 口
	2日	清 水		11日、12日	坂 越
	29日	水 野		1日、3日	重 本
	23日	柴 田	形 成 外 科	11日、12日、26日、29日、30日、31日	置 塩
精 神 科	1日	長谷川	脳 神 経 外 科	16日	宮 森
外科・消化器外科・乳腺外科	1日、11日、18日	泉	眼 科	1日、12日、29日、30日	山 田
	5日	福 島	麻 酔 科	1日	永 川
	2日、3日、4日、19日	月 岡	健 康 管 理 科	5日、8日	荒 屋
	5日	吉 川	産 婦 人 科	26日	山 西
			19日	長谷川	

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

## 編集後記

6月半ばを過ぎてようやく梅雨らしい天候になり、色とりどりの傘が町を彩っています。みなさまいかがお過ごしでしょうか。私事ですが、ふれあい地域医療センターで医療ソーシャルワーカー業務に携わるようになり5年目になりました。異動してきた頃は急性期病院のことは何もわかっておらず、失敗も多々あり地域の皆様にご迷惑をおかけしたこともありました。5年目になりようやく病院という職場にも慣れ、地域のみなさまからもご相談いただけるまでになりました。  
 しかし、相談業務は何年経験しても満足ということはなく、いつも「これでよかったのか。他にも方法があったのではないか」と自問自答を繰り返しています。これからも自問自答を繰り返しながら、患者様やご家族、地域のみなさまに相談してよかったと思っただけのよう日々努力していきたいと思えます。今後どうぞよろしくお願いたします。  
 ふれあい地域医療センター 仙石 留美子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。  
 送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>  
 がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp